



れんごう ふくおか

No. **339**

RENGO FUKUOKA

2018年11月15日発行
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会
発行人：矢田信浩 編集人：上野茂伸
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル
TEL. 092-283-5529 FAX. 092-283-5611
連合福岡のホームページ
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>
連合福岡のメールアドレス
info@fukuoka.jtuc-rengo.jp

第21回 定期中間大会

「すべての働く者を守る」取り組みを進める
その為に「17万人連合福岡」達成を



連合福岡 西村芳樹会長の挨拶



今大会の議長団
(基幹労連：野中代議員 JR連合：吉田代議員)

10月30日、連合福岡は朝倉市総合市民センターにおいて第21回定期中間大会を開催しました。今回、開催地を朝倉とした理由は、昨年7月の九州北部豪雨で被災した朝倉市と東峰村に思いをはせながら、被災地の支援に少しでも寄与することができればとの思いから、朝倉市での開催としたものです。

開会にあたり西村会長は、(1)明年の春季生活闘争を念頭に、「賃金は毎年上がっていくもの」といった土壌形成が重要であること。(2)長時間労働による過労死、過労自死、精神疾患からすべての働く者を守っていく取り組みを進めること。(3)安倍一強政治に歯止めをかけるため、明年の第25回参議院議員選挙に全力を投入する必要があること。その一環として、厳しい状況にある候補者一本化に引き続き努力し、連合福岡の和にひびを入れないこと。(4)「17万人連合福岡」の達成を最重要課題とし、合わせて連合本部での議論とリンクした、地協を含む専従役員の配置や会費と組織の加入の在り方等の課題について、連合福岡の組織強化を念頭に論議を進めていくこと、の4点を軸に挨拶を行いました。

「後半年度の取り組み」に関する議案では、自治労谷口代議員より、「正規労働者で組織する組合が、非正規で働く自分達に声をかけてくれたことが嬉しい」との声があったことを紹介し、非正規労働者組織化の重要性を強調。加えて、参議院議員選挙勝利に向け、「政党の都合で労働者の声を分断させる分けにはいかない」と、候補者の一本化を求める補強意見を示し、満場一致で提案が承認されました。



被災地朝倉市 林市長の挨拶



谷口代議員（自治労）の発言

ついでと 告意～問

秋冬到来。秋の深まりを感じさせる冷たい空気が身体に心地よい季節。時の経過は実に早いもので連合福岡専従役員就任から一年。紙面を通じて恐縮ではあるが、この1年間のご協力に心よりお礼を申し上げたい。

先月30日は定期中間大会を開催し緊張感漂う中で活動方針・予算案などが承認され、2019年度の活動がスタートした。

その活動は前年度に増して重要度が高まっており、連合運動強化に向けた検討対応・北九州市長選挙・2019春闘・統一地方選挙と参議院議員選挙・17万人組織拡大・政策制度要求と実現・連合福岡結成30周年記念事業等々と目白押しである。

これまでどおり「力と政策」を合い言葉に構成組織と連合が一体となり「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け「頼りにされる連合」となるべく引き続き運動を展開していこうと考えている。チェスト!!

次の飛躍へ、確かな一歩を

===第21回定期中間大会をステップに===

連合は明年末に結成30年を迎えます。この間、日本経済は大きく変貌し、労働契約の形態も複雑化しました。1,465万人（8月時点）となった有期労働者の存在は、日本の将来に大きく影を落としています。自己主張に拘泥し他意見を受け入れない風潮も世界的に強まっています。

この様な中、連合は「連合運動強化特別委員会」を設置し、将来の連合運動の強化に向けた運動・組織・財政のあり方などの重要課題などの評価・検証を行っています。検討議論では、運動を推進するために限られた運動資源の有効活用かつ最適配分を念頭におき、選択と集中により連合の一体性を高め運動の発展に繋げることが論じられています。連合福岡の組織事情（組織人員・会費等）や九州ブロックを含む今後の組織のあり方などについては、本年11月に予定されている中間報告やその後の論議経過を踏まえながら柔軟に対応していくことになります。

連合福岡の結成30周年に向けた取り組みは、結成当時の歴史を振り返りながら将来に向けた連合福岡運動の方向性を検討するため、「結成30周年記念事業プロジェクトチーム」を設置しました。記念事業や記念レセプションなどの計画・立案・実施について、いよいよ本格的な準備へと動き出します。

これまで「顔合わせ、心合わせ、力合わせ」から始まった連合運動は、その後、「力と政策」をスローガンに「すべての働く人たちのために、社会の不条理に立ち向かう組織」として発展し、構成組織と連合福岡が一体となり「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、地域に根ざした顔の見える運動を進めてきましたが、大きく社会を動かすまでには到っていません。

このような状況の中、私たちは、不公正や不条理な格差、差別、貧困などに毅然と立ち向かい、真面目に働くものが報われる社会を築いていくため、働く者の声を代表する組織として、社会的役割と責任を強く再認識し取り組みを進めなければなりません。

加えて、甚大な災害からの復旧・復興、国連・持続可能な開発目標（SDGs）の推進などによる雇用の安定と公正労働の確保、安心できる社会保障制度の確立などに関連する政策の実現・実行にも尽力すべき責務があります。そのため、来年施行予定である第19回統一地方選挙、第25回参議院議員選挙や政令市長選挙をはじめとする各級選挙において、政治勢力の維持・確保をめざし、支援する候補者全員の当選に向けて全力で取り組んでいかなければなりません。

去る10月30日に開催した第21回定期中間大会は、このような認識の基に、これから一年間の運動への決意を固め合った大会となりました。連合福岡は、いまこそ働く人達が抱える課題に正面から向かい合い、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、更なる『次の飛躍へ、確かな一歩を』すすめていきます。

第19回統一地方選挙勝利！

=== 連合福岡10.30決起集会で決意を固める ===



立候補予定者を代表し吉村県議が挨拶

連合福岡は2019年4月施行予定の第19回統一地方選挙を「働く者・生活者の立場に立った地域の政治勢力拡大を図るための重要な闘い」と位置付けて、10月30日に決起集会を開催しました。

決起集会には、連合福岡が推薦および推薦予定の立候補予定者30人全員がピーポート甘木に結集しました。はじめに西村会長が「30人全員当選させるため、連合福岡組合員の総力をかけて第19回統一地方選挙を闘おう」と力強く述べられ、続いて、吉村県議より「30人全員が当選すれば県政に大きな影響力を持つ会派になる。みなさんのご協力をお願いしたい。」とご挨拶をいただきました。その後、立候補予定者一人ひとりが自己紹介を含めたアピールを行いました。

最後に「すべての働く者・生活者のくらしの底上げ・底支え、格差是正、貧困の撲滅に資する政策の実現のために、そして政治に直結している税や社会保障、雇用・労働問題等についての政策・制度要求の実現のために連合福岡全組合員の総力を結集して、第19回統一地方選挙を闘い抜こう」とした集会アピールを読み上げ、矢田事務局長の力強い団結ガンバロウで集会を終了しました。



必勝に向け全員でガンバロー三唱



連合福岡 犬塚次長による集会アピール（案）の読み上げ

2018年10月23日

米国の中距離核戦力（INF）全廃条約破棄の表明に強く抗議する相原事務局長談話

1. 米国のINF全廃条約破棄表明に対して強く抗議する

トランプ米大統領は10月20日、米国と旧ソ連が1987年に結んだ中距離核戦力（INF）全廃条約の破棄を表明した。同条約が破棄されることは、連合が求めてきた核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現から遠ざかるものであり、強く抗議する。

2. 同条約の歴史的意義および現下の国際世論を踏まえた対処を

INF全廃条約は、冷戦終結のきっかけとなった極めて重要な条約であり、米ロ2カ国だけでなく、核搭載可能な中距離ミサイルを保有する多国間条約となりうる条約である。米国がINF全廃条約破棄を表明したことで、米国とロシアとの関係は冷戦時代に後戻りし核軍拡競争を招きかねない。これらを踏まえ、トランプ政権には、同条約の歴史的意義および現下の国際世論を踏まえた対処を求めたい。

3. 日本政府は米国のINF全廃条約の継続を、毅然とした態度で対処すべき

すべての核軍縮合意は遵守されるべきであり、トランプ大統領が北朝鮮に非核化を迫る一方での今回の表明は、国際的にも重大かつ差し迫った脅威であり、断じて容認できない。日本政府は唯一の被爆国の責務として、米国に対し条約の継続を毅然とした態度で対処するべきである。

4. 連合は核兵器廃絶と恒久平和に向けてのキャンペーンを行っていく

連合は、原水禁、KAKKINとともに、核兵器保有国に対する要請行動を毎年行うとともに、米国大使館に対しても、7月に核兵器の削減・廃棄および核兵器の実験中止にむけた要請行動を行った。また連合は、日本国内のみならず世界の労働組合と連携し、ITUC世界大会宣言文に核兵器廃絶に関する取り組みを盛り込むよう働きかけを行ってきた。今後、ITUCオンライン・サインアップ（署名）キャンペーンへの参加を社会へ広く働きかけていくなど、2020年核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて、志を同じくする団体とともにいっそう取り組みを強化していく。

以上

SCHEDULE これからの主な日程

- 11月21日▶第3回海外視察研修参加者「意見交換会」
- 26日▶第12回政治センター委員会
- 〃▶第13回四役会議
- 27日▶労働審判員労使懇談会
- 28日▶第15回執行委員会
- 29日▶2018年度 第10回女性委員会役員・幹事会
- 30日▶連合福岡官公部門連絡会第7回役員・幹事会
- 12月1-2日▶中小・地場労組活性化化学習会
- 2日▶2019年度第1回地協代表者会議

ほんでも法律相談

※申し込み、問い合わせは、最寄りの地域協議会・労福協（地域労福協）に電話で予約して下さい。
10時～17時（土日祝日を除く）

エリア	11月	12月	エリア	11月	12月
福岡	13日(火)	11日(火)	遠賀川	30日(金)	21日(金)
	27日(火)	25日(火)			
筑紫・朝倉	6日(火)	4日(火)	北九州	21日(水)	19日(水)
北筑後	20日(火)	18日(火)	京築・田川	7日(水)	5日(水)
南筑後	14日(水)	12日(水)			

※開催済みの日程も掲載しております

ろうきんカードは
いつでも!どこでも!
どなたでもつかえる!

※一部の地域においては、コンビニエンスストア等のATMを地方銀行等の金融機関が設置している場合があります。その場合、地方銀行等の金融機関設置のATMは全国キャッシュサービス（MICS）扱いとなり、ご利用手数料がかかりますので、手数料をキャッシュバック（1回につき108円が上限）いたします。コンビニエンスストア等に設置されているATMがローソン・エイティエム・ネットワークス、イーネットであることをお確かめのうえご利用ください。※イーネットについては、鹿児島県内に設置されているATM数が少ないため、ご利用の際はご注意ください。※1日あたりのお引出し限度額は、キャッシュカードが50万円、ICカードが200万円となっています。（最高限度額200万円まで変更できます。）ただし、1回あたりのお引出し限度額は20万円、お預入限度額は50万円となります。

セブン銀行 108円の時間外手数料がかかります。 2018.10

ZENROSAI NEWS

火災、自然災害、盗難まで幅広い保障
全労済の住まいる共済
火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

火災はもちろん、台風・地震など自然災害にも備えられる「住まいと家財の保障」。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済福岡推進本部
(福岡県労働者共済生活協同組合)
http://www.zenrosai.coop/

保障のことなら全労済
40183014